

2. 世界へ羽ばたく折り鶴 - インスタがきっかけで突然パリへ

大石：

JAPAN Expo Paris に、ちょうど 1 年前の 7 月に出店しました。それはものすごい経験だったんですよ。

宮本：

サラっと言われるけど、ジャパンエキスポに出店をお聞きしてびっくりしました。限られた点数の中で、出店できることはすごいなって思い、ええっ！と感じだったんです。そういう方が身近にいらっしまったというのが驚きでした。そこで、出店きっかけは何だったのかお聞きしたんですよ。

大石：

友達にからちょっと作ってほしいと言われてたイヤリング、ピアスかなにかだったんですけど、それをインスタグラムに挙げていたら、ジャパンエキスポのバイヤーさんが見ていただいてですね。突然出ませんか。

宮本：

出ませんかって、いきなりそんな簡単にきますか。

大石：

そうですね。だから本当にこういう折り鶴アクセサリー作ってらっしゃる作家さんって結構たくさんいらっしやるので、間違えてませんか？ ってお返事を送り返したんです。それだけなんですよ。

司会：

パリで開催される大きなヨーロッパ最大級のイベントですね。

大石：

そうです、はい。

宮本：

本当に発信することも大切だなと改めて思いつつ、驚きました。

大石：

そうですね。

もう、私のどういうところで見られて、私がいいと思われたのかをちょっとお聞きしたら、フランスマダムに絶対受けるっていうお電話をいただきました。

宮本：

バイヤーさんの目は鋭いですから。素晴らしい！

大石：

疑いも半分ぐらいあったんですけど、結構真面目でいろいろ調べまして、これは本当だと、あとは私の覚悟次第だなと。ただやっぱり結構大きな覚悟でした。元々がそこまでイベントとか、たくさん作って販売とかいうのをしなくて、インスタグラムも本当に大石華代のプライベートなものでした。それで、これを機に Wakka アクセサリーっていうアカウントを作ったんです。

宮本：

その出品するのをきっかけに作ったんですね。

大石：

はい。

司会：

そこからどんなふうに出店までの流れになったんですか。

大石：

そうですね、何点持って行ったらいいものかとか、あと出店ブースも 3 パターンあって、小さいのから中位、あと一番大きいブースまで。せっかく行くならワークショップも思い出に残るようなワークショップもしたいなと思い、ちょっと 1 個上のブースに参加しました。

折り鶴を作って糸を通し、つるし飾りのように仕上げました。実際行ってみると、言われていた通り、折り鶴はフランスの方には認知度がすごいなって思いましたね。折り鶴のアクセサリーはどこで販売してるのかって、受け付けで結構聞かれたらしく、そのまま私のところに来ていただいて、なんと折り鶴の作品は完売に近いところまでいきました。

宮本：

素晴らしい。どれぐらい持って行かれてたんですか。

大石：

そうですね、百二、三十点ぐらい持って行ったんですよ。そんな作ったこともなかったので、結構頑張って作って。

宮本：

2.5センチ×2.5センチで。

大石：

そうです。もう好きなんですけど、さすがに沢山一気に作れないので。

宮本：

子育ての合間ですね

大石：

はい。おかげさまで、本当に楽しかったです。それを基に大村市の方でいろいろ評価していただいて、本当ありがたいことですね。それでふるさと納税の返礼品にしませんかっていう話も頂きました。

司会：

どんどんステップアップですね。